

《記入例》

前年用（表）

収入計算書〔前年（2022年1月～12月）用〕

私は、日本学生支援機構の奨学金を申し込むにあたり、前年の収入に関する状況は以下のとおりであることを報告します。また、この収入計算書に基づき奨学金の申込み（「スカラネット」への入力）を行うとともに収入にかかる証明書を裏面に貼付（父母等からの給付額がある場合は裏面に記載）いたします。

- 進学予定学校名 長崎 大学 医歯薬学総合 研究科
- 進学予定課程（該当の数字に○）：
1. 修士・博士前期課程／専門職大学院課程（法科大学院を除く）
2. 博士後期課程
3. 博士医・歯・薬（4年制）・獣医学課程
4. 法科大学院
- 申込者氏名 長崎 花子

〔各項目1万円未満切捨て〕

前年(2022年1月～12月)の 収入額		
	収入項目	収入額 (A)
定職 (○)	定職 (本人)	(年額) 万円
	定職 (配偶者) 〔該当者のみ〕	(年額) 万円
アルバイト (○)	アルバイト 1	(年額) 47 万円
	アルバイト 2	(年額) 5 万円
	アルバイト 3	(年額) 万円
	父母等からの給付額 (★) ※裏面に父母の署名が必要	(年額) 54 万円
	奨学金	(年額) 60 万円
	・その他の収入(利子・配当・不動産・ 年金等の公的手当・預貯金の取崩し等)	(年額) 万円
	収入額合計 (※)	(年額) 166 万円

〔記入時の注意事項〕

◎複数あるために欄が不足する場合は、合計額を記入（アルバイトは1・2に記入後、3に残りをまとめて記入）。ただし、証明書類は全て提出してください。

★計上する場合、前年用裏面に月別内訳を可能な限り記入してください。また、父母等給付者の自署が必要です。

〔重要〕

収入額合計は、0万円とならないよう記入してください。

※2024年1月～2月に申し込む場合でも「前年」は2022年となります。

〔収入欄に記入した収入証明書を裏面に貼付〕

**本年見込用
(表)**
変動ある場合のみ

本用紙は、「A3 サイズ 1 枚」により構成されています。前年（左面）の収入と本年（右面）の収入に変動がない場合、「本年」の記入は不要です。

収入計算書[本年見込（2023年1月～12月）用]

私は、日本学生支援機構の奨学金を申し込むにあたり、本年の収入に関する状況は以下のとおりであることを報告します。また、この収入計算書に基づき奨学金の申込み（「スカラネット」への入力）を行うとともに収入にかかる証明書（但し前年の収入から変動のある証明書のみ）を裏面に貼付（父母等からの給付額がある場合は裏面に記載）いたします。

【収入の状況】（以下の該当する方に、「○」を付けてください。）

	本年見込の収入については、前年の収入金額に対して、 <u>変動はありません</u> 。	➡	このページは記入不要。
	本年見込の収入については、前年の収入金額に対して、 <u>変動します</u> ので、以下のとおり報告します。	➡	両ページの各項目を全て記入（前年と変動のない同じ項目は、前年と同じ金額を記入）。

[各項目 1 万円未満切捨て]

本年(2023年1月～12月)の収入見込額		
	収入項目	収入額 (B)
定職 (○)	定職 (本人)	(年額) 万円
	定職 (配偶者) [該当者のみ]	(年額) 万円
アルバイト (○)	アルバイト 1	(年額) 40 万円
	アルバイト 2	(年額) 万円
	アルバイト 3	(年額) 万円
	父母等からの給付額 (★) ※裏面に父母の署名が必要 奨学金 (申込中の奨学金は除く)	(年額) 54 万円
	・その他の収入(利子・配当・不動産・年金等の公的手当・預貯金の取崩し等)	(年額) 60 万円
	収入見込額 合計 (※)	(年額) 154 万円

「変動」とは、別の勤務先が変わったり、アルバイトの数が変更になった場合を指します。収入の若干のゆらぎについては変動に含みません。

【記入時の注意事項】

◎複数あるために欄が不足する場合は、合計額を記入（アルバイトは 1・2 に記入後、3 に残りをまとめて記入）。ただし、証明書類は全て提出してください。

★計上する場合、本年見込用裏面に月別内訳を可能な限り記入してください。また、父母等給付者の自署が必要です。

【重要】

収入額合計は、0万円とならないよう記入してください。



本年收入見込額を「0円」とすると、前年の収入額合計で審査されます。

※2024年1月～2月に申し込む場合でも「本年」は2023年となります。

【前年の収入から変動のある証明書のみ裏面に貼付】

前年用（裏）

証明書の貼付欄

〔収入に関する証明書のみ貼付〕

・証明書類は、この欄に本紙と上下の向きをそろえて、ホチキスでこの2点を留めてください。

学校指定の様式がある場合は、そちらを貼付してください。
その場合、この用紙への貼付は不要です。
書類の提出方法については、学校の指示に従ってください。

★父母等からの給付額について（給付者が記入してください）

表面の申込者本人が日本学生支援機構の奨学金を申し込むにあたり、当該者本人への給付額については、以下のとおりであることに相違ありません。

○給付者（父母等）氏名【自署】 長崎 太郎 ○申込者との関係（続柄） 父

(2022年)

1月	円	7月	円
2月		8月	
3月		9月	
4月	270,000	10月	270,000
5月		11月	
6月		12月	
		合計	540,000 円

必ず父か母に自署
をお願いすること

スカラネット入力用合計金額 **54** 万円

スカラネット入力時の単位は「万円」です（1万円未満切捨て）。

例：合計額 309,700円 ⇒ スカラネット入力用合計金額 30万円

※ 月別に記入できない場合は、年額のみを合計欄に記入してください。

本年見込の収入について、前年と変動がない場合、この面の記入は必要ありません。

本年見込用
(裏)

証明書類貼付欄

〔前年の収入から変動がある証明書のみ貼付〕

自宅生については

「日常生活費(世帯経費/家族数)」も父母からの給付になります。

生活費として父母にお金を渡している場合は、その金額を差し引いてください。

裏面については HP から様式:「父母等からの給付額の証明(収入計算書裏面)」を印刷し利用してもかまいません。

★父母等からの給付額について（給付者が記入してください）

表面の申込者本人が日本学生支援機構の奨学金を申し込むにあたり、当該者本人への給付額については、以下のとおりであることに相違ありません。

○給付者（父母等）氏名【自署】 長崎 太郎 ○申込者との関係（続柄） 父

(2023年)

1月	円	7月	円
2月		8月	
3月		9月	
4月	270,000	10月	270,000
5月		11月	
6月		12月	
		合計	540,000 円

必ず父か母に自署
をお願いすること

スカラネット入力用合計金額 **54** 万円

スカラネット入力時の単位は「万円」です（1万円未満切捨て）。

例：合計額 309,700 円 ⇒ スカラネット入力用合計金額 30 万円

※ 月別に記入できない場合は、年額のみを合計欄に記入してください。